

気候情報

2018年3月の日本の天候

- 気温は北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった
- 降水量は北・東・西日本で多く、北日本と東日本太平洋側ではかなり多かった
- 日照時間は全国的に多く、東・西日本と沖縄・奄美ではかなり多かった

3月の天気概況

日本付近は低気圧と高気圧が交互に通過したが、日本の東で高気圧の勢力が強くなり、低気圧の通過時には南から湿った空気が流れ込みやすかった。東日本太平洋側の月降水量は平年比163%となり、1946年の統計開始以来3月として1位の多雨となった。中旬以降は、日本付近は移動性高気圧に覆われて晴れた日が多く、寒気の影響も弱かった。特に、東日本日本海側では月間日照時間の平年比が141%、西日本日本海側では平年比137%、沖縄・奄美では平年比171%となり、いずれも1946年の統計開始以来3月として1位の多照となった。

上旬：各地で大雨となったほか、1日は近畿地方と関東地方で、5日は九州南部・奄美地方で「春一番」が吹いた。また、8日から9日にかけて、北海道では記録的な大雨と急速な雪解けの影響で、低地の浸水や河川の増水などによる被害が発生した。

旬平均気温は、東・西日本でかなり高く、北日本と沖縄・奄美で高かった。

旬降水量は、北・東・西日本でかなり多く、沖縄・奄美で多かった。

旬間日照時間は、北日本でかなり少なく、東日本太平洋側で少なかった。東日本日本海側と西日本、沖縄・奄美では平年並だった。

中旬：低気圧と高気圧が交互に通過したが、東・西日本や沖縄・奄美を中心に移動性高気圧に覆われて晴れた日が多かった。日本付近を寒冷前線が南下し、大陸から一時的に寒気が流れ込む日はあったものの、低気圧は日本の北を東進することが多く、日本付近は南よりの非常に暖かい空気が流れ込んだ日が多かった。

旬平均気温は、東日本でかなり高く、北・西日本と沖縄・奄美で高かった。

旬降水量は、北・東日本太平洋側で少なかった。一方、東日本日本海側と西日本で多かった。北日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、沖縄・奄美でかなり多く、北日本太平洋側と東・西日本で多かった。北日本日本海側では平年並だった。

下旬：期間のはじめは低気圧が南岸を東進し、東北地方や関東甲信地方の内陸や山沿いを中心に大雪となった所があり、西日本では旬の前半にかけて寒気が流れ込んだ。その後は、移動性高気圧に覆われて全国

的に晴れた日が多かった。南高北低の気圧配置となつて南よりの暖かい空気が流れ込み、北日本から西日本にかけては気温がかなり高く、28日から30日にかけては各地で3月として記録的な高温となった。

旬平均気温は、北・東・西日本でかなり高かった。一方、沖縄・奄美で平年並だった。

旬降水量は、北日本日本海側と沖縄・奄美でかなり少なく、北・西日本太平洋側と東日本で少なかった。西日本日本海側では平年並だった。

旬間日照時間は、全国的にかなり多かった。

3月の気候統計

月平均気温：北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。

月降水量：北日本と東日本太平洋側でかなり多く、東日本日本海側と西日本では多かった。一方、沖縄・奄美では少なかった。

月間日照時間：東日本、西日本、沖縄・奄美でかなり多く、北日本では多かった。

(気象庁観測部情報管理室)

3月の記録(1位更新のみ)

・月平均気温高いほうから(°C)

名古屋 11.2 京都 10.9 など46地点

・月降水量多い方から(mm)

河口湖 279.0 千葉 188.5 など9地点

・月間日照時間多い方から(h)

金沢 194.2 神戸 223.7 など29地点

2018年3月の平年差(比)図

